

実施計画の21年度目標について(集中改革プラン)

(2) 組織・機構の簡素効率化

①組織・機構の見直し

項目	17年度	21年度	改善目標
6支所の統廃合	一部実施		17年度で実施済み
地区公民館の見直し	一部実施		支所廃止に伴い中央公民館へ集約した体制をとろうとしたが、事情が異なった為21年度まで中央公民館に集約してゆく。
小学校の統合	継続	継続	協議会の答申が一部白紙に戻ったことから、21年度までに将来児童数の推移を把握しながら全体の計画を策定し、これについての答申を得る。
保育所の再編	実施		17年度で3保育所の民営化を実施、21年度まで各保育所の特徴を生かした将来計画を作成する。長期的には山間部に1保育所、平坦部に2保育所の体制でできるか検討する。
課所等の機構の整備再編	検討		17年度に支所廃止により、地域担当を配置した。21年までに段階的に機構の再編を進めながら長期的には管理・産業・住民・建設・教育・企業部門に再編する。

②団体等の見直し

項目	17年度	21年度	改善目標
観光物産協会の自立	実施	継続	自主財源を確保し、補助金の削減を図る。16年度決算ベースで21年度までに20%の削減とする。
社会福祉協議会の自立	実施	継続	町の事業委託とともに、民間としての福祉事業の拡大を図り、その性質上補助金に完全に頼らないで自立は困難であるが、町の補助金削減を図る。
(株)五輪坂ハイツの自立	実施	継続	町の温泉という福祉的な施設であることから、完全な自立は困難と考えている。しかし指定管理者制度とあいまって経営努力により町の支出削減を図る。
五輪坂スキー場の経営改善	検討		学校スキー場としての利用であることから、利用者減による閉鎖を直ちに実施できない状況にあり、今後費用をかけずに使用する方法について検討してゆく。